

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |    |        |    |
|----------------|-----------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名          | スカフォルズ                      |    |        |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 3月 17日 ~ 2025年 4月 21日 |    |        |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 20 | (回答者数) | 19 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 3月 10日 ~ 2025年 3月 24日 |    |        |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 8  | (回答者数) | 8  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 4月 28日                |    |        |    |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                       | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|--|--|---|
| 1 | 発達学博士監修の元、専門的支援員各々が子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している      | 発達学博士監修の元、個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している     | 引き続き、職員や事業の質向上に向けた研修を積極的に多く取り入れる              |
| 2 | 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている | 引き続き、各種親子セッションとコーチングを取り入れ、親子の絆が深まる関わり方を提示していく |
| 3 | 子どもが安心感を持って通所を楽しみにしており、事業所の支援への満足度が非常に高い                         | 家族支援の際に子どもの状況を保護者と丁寧に伝え合い、子どもの発達の状況について共通理解に努めている                              | 引き続き、定期的にSNS等で活動概要や行事予定等の情報を発信する              |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること  | 事業所として考えている課題の要因等           | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                            |
|---|---|-----------------------------|---|
| 1 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会が少ない   | 機会はあるが対象児が少ない               | 引き続き、支援上必要なケースでは自社の保育所での就園・食事サポートや療育施設で多角的に支援する |
| 2 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に各種避難訓練を行っているが周知されづらい   | 利用開始時に説明しているが情報量が多く印象に残りづらい | 引き続き、玄関掲示やSNS等で実施を報告する                          |
| 3 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明し、発生を想定した訓練を実施しているが周知されづらい | 利用開始時に説明しているが情報量が多く印象に残りづらい | 引き続き玄関掲示やSNS等で実施を報告する                           |